今週の富大生

Weekly TOMIDAISEI

第91号

人文学部　人文学科
心理学コース　3年
富山県立福岡高等学校
（富山県）

軽音楽サークルの活動と心理学の勉強で充実

音楽との出会い

幼少期からピアノを習っていました。音楽はずっと好きでした。中学入学時に、吹奏楽部の見学に行った時に体験でドラムをやったら楽しく、すぐに入部を決めました。パーカッション全般を担当しました。ピアノをやっていたので打楽器に加え鍵盤楽器を担当するパーカッションは自分に向いていました。高校進学時は吹奏楽部の先輩がいることや、家から近く、英語コースがあることに魅力を感じて福岡高校に進学しました。高校生活の8割は部活動をしていたというくらい、部活動に没頭していました。学業面では、福岡高校は課題が多いので課題をきっちりやること、予習をして授業を真剣に受けることを意識していました。

心理カウンセラーに興味

中学生の時から漠然とカウンセラーの仕事に興味がありました。高校生の時にスクールカウンセラーの先生と話す機会がありました。その場に参加させていただき、実際にどんな風に相手の心に寄り添い心の問題を解決していくのかを目の当たりにしました。より心理学への興味が強くなり、大学に進学して心理学を学びたいと考えました。自宅から通学でき、心理学を学ぶことのできる富山大学人文学部に進学することを決めました。

納得のいく研究室選びのために行動

富山大学の人文学部では２年次からコースに分かれるため、１年生の間は行きたいコースをじっくり考えることができます。１年次に心理学の基礎となる心理学概論などの講義を受け、ほかのコースの講義も受ける中で、自分は心理学に一番興味があるのだと確信を持ちました。
２年次から心理学コースに進み、所属する研究室を選ぶときに迷いました。どの先生がどんなことを専門としているのか、一人ひとりの先生に連絡し、お話しする時間をいただきました。迷っている気持ちを素直に打ち明け、相談しました。先生方は皆さん話を聞いてくれました。その上で、集団、ユーモア、家族などを主に取り扱う研究室を選ぶことにしました。

軽音サークルにドラムで参加

実家暮らしのため部活動をすると夜遅くまでの練習などに参加できないことから、音楽系のサークルに参加したいと考えました。同じ人文学部の友人が入っていた軽音楽サークルFSCの見学をさせてもらい、先輩方の雰囲気も良く、楽しそうだと感じたため、入りました。中高時代に吹奏楽部でドラムをやっていたこともあり、軽音に入るならドラムかなと思い、ドラムを担当することになりました。

ライブでの演奏で達成感

サークルでは、いくつかのバンドを掛け持ちや、ライブのたびに違うメンバーとバンドを組むことがあります。一緒にバンドで演奏したり音楽を聴く中で、私自身も音楽の幅が広がりました。月に１度ほどのペースでライブに出ています。スケジュール調整や個人練習が大変だと感じるときもありますが、ライブに参加し、メンバーと一緒に演奏する時間はとても楽しく、これまで頑張って練習してきてよかったと感じます。ライブが終わった後に、「またみんなとバンドを組んでライブに出たい！」と思えるほど、大きな達成感があります。お気に入りは羊文学やRADWINPS、My Hair is Badの曲です。

お世話になった先生方へ

受験期に私が不安にならないよう、ずっと前向きな言葉で私の背中を押してくれてありがとうございました。

取材日：2026年9月29日